



小村 初彦
(公明党)

元気な十和田市づくり市民活動 支援事業の継続と拡充を

重要な事業と確信 より充実させ、継続する

議員 市長公約による、元気な十和田市づくり市民活動支援事業は大変好評である。今後、事業分野と予算を拡充し継続するべきでは。

代表による外部事務事業評価でも本事業はぜひ必要との結果であり、事業の成果を十分に検証しながら、より充実し継続して取り組みます。



支援事業で整備中の甲東中グラウンド

市長 当市では多くの市民ボランティアなどが市を元気にしたいと活発に活動しています。それを支援し市民と行政が一緒にまちづくりを進めたいという思いから特別枠予算で事業を実施しています。これまでも事業成果を検証しながら制度の充実を図っており、年々応募団体もふえ、事業効果も高まっていることから重要な事業と確信しました。事業分野の拡充は、現在も幅広い分野から応募ができるため、あらゆる機会を通じ、活用を働きかけます。予算の拡充と事業の継続については、市民

議員 いじめ、不登校の対策は。

教育長 いじめについては未然防止、発生時の対応、他機関との連携の三つの視点で指導しているほか、生徒指導担当者の情報交換による実態把握、学校教育相談員や臨床心

議員 中心商店街の空き店舗を活用し、活性化を。

観光工部長 平成二十二年、二十三年度に空き店舗対策事業として、新規開業者に家賃を六カ月助成する事業を実施し、十二店舗が開業しました。八店舗が閉店しました。今後はこれまでの事業を検証し、新たな補助制度等について検討します。

三本木霊園 使用待機者への対応を 今年度内に提供の見込み



桜田 博幸
(明政一心会)

区画整備は考えていません。しかし、墓地を確保できずに困っている市民の方々に對し墓地を提供できるように、霊園の区画整備地内で利用可能な空き地等を調査しており、現在の使用待機者に対し、今年度内に提供できる見込みです。

議員 平成二十七年からの、第六期介護保険事業計画の考え方は。

健康福祉部長 平成十八年度に介護予防事業がスタートして以来、高齢者の増加にもかかわらず平成二十三年度までの六年間、要介護認定者数が二千八百人台で推移しており、これまでの予防事業の効果と考えています。今後とも介護サービス給付費は増加していくと予想され、その伸びを抑えるため、内容に工夫を凝らしながら介護予防事業を展開していきます。新たな事業については、全国の効果的な介護予防事業の事例等を参考にするとともに、どの

議員 県営体育施設誘致に関するその後の進捗状況は。

企画財政部長 県知事への重点事業要望において、昨年度は県の考え方を聞き、今年度は県立施設の設定を今後要望していく意思を伝えていきます。要望する施設については、さまざまな意見があることから、現在可能な限り客観的な視点により、ふさわしい施設は何かを検討しています。来年度の県への要望に向け、できるだけ早い段階で意見を取りまとめます。

議員 三本木霊園について、使用待機者が現時点で十八名いるようだが、第十区画南側の未整備地を活用する考えは。

民生部長 そこは園内における緑地として管理されている場所で、公園墓地という性格上の観点から



屋内体育施設の充実を